

1. 敷地の概要

対象敷地の概要	
概要	・名鉄豊田市駅から約1.6km、 豊田スタジアム東側の区域 ・事業区域 約23.5ha (今回の公募の事業対象はピンク部分)
所在地	愛知県豊田市広川町、上野町、千石町地内
都市計画	都市公園（総合公園） 市街化調整区域 建蔽率60%、容積率200%



3. 基本計画案

※この案はR6.3時点の内容につき、今度の関係機関協議調整、設計等により変更になることもあります。

- 1,000人を超える市民ヒアリングにより導いた「コンセプト」と「5つのゾーニング」を基本に、その後の推進会議、有識者会議、そして地権者説明会、市民ワークショップ等での意見を参考に 計画案を作成しました。

外環の森

市民が植樹に関わり、整備や管理に継続して取り組むことで、生きがいを感じながら、**森林を大切に身近な存在として認識する場所。**

自然体験・遊び・学び広場

市産材を使ったアスレチック遊具や木工体験、森の中での生物観察等により、自然や文化に触れ合うことで**森林の大切さや価値を認識すると共に環境技術の見える化の場所。**

交流広場・イベント広場

山間部の食材を販売するイベントや軽トラ市により、**山間部の魅力を提供しながら、新たなにぎわいや都市と山間部の繋がりを実感できる場所。**

スタジアム連携広場

サッカー利用主体のグラウンドやクラブハウス等のスポーツ拠点施設を配置し、**森の中でのスポーツ体験を提供する場所。**音楽・演劇等のイベントとも連携した利用が展開できる場所。

ゲート広場・イベント広場

都心からの玄関口として、豊田の木材を活用したエントランス施設に触れながら、**フォレストレガシーの実感と、新たな楽しみ方が期待できる場所。**

2. コンセプト案・ゾーニング案

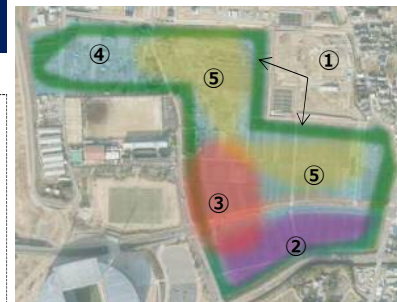
市町村合併のきっかけとなった東海豪雨の地歴を次世代へ継承するため、木と水の循環による「森林の大切さ」を実感させ、その体験を市民の心に根付かせる、魅力的な空間づくりを展開。

(仮称)
フォレストレガシーパーク

市民意見をベースに、5つのゾーニングを設定。

◆公園使いテーマ

- ① 緑・川・自然・森林に囲まれた癒しの空間づくり
- ② スポーツ・文化を向上させる空間づくり
- ③ 家族で楽しむ・若い力を育てる空間づくり
- ④ 多世代・多国籍・他地域のつながりをつくる空間づくり
- ⑤ 生きがいづくり・市民が育てる空間づくり



4. 整備の取組方針

- 段階的整備による事業効果の早期発現
- スポーツツーリズムの戦略的展開と連携
- 民間活力の積極導入

次期整備区域

先行整備区域開設後

先行整備区域開設後、
次期整備区域の整備へ先行整備区域
(今回の事業対象)

令和8年度までに整備

次期整備区域

先行整備区域の事業効果、民間活力の導入検討等を踏まえ、先行整備区域に引き続き段階的に整備を進める。

先行整備区域

豊田スタジアムを核としたスポーツ戦略の展開と湛水機能の着実な確保を図る。

5. 湛水想定区域

- ・事業区域は豪雨時に周辺から集水した雨水を湛水する機能を担っており、整備後にも同様の機能を必要十分な規模で担保する必要があります。
- ・10年確率、30年確率、150年確率等における湛水想定区域は以下のとおりです。



1/10確率
容量：22,000 m³
水位：T.P.+33.97m



1/30確率
容量：33,000 m³
水位：T.P.+34.21m



1/150確率
容量：50,000 m³
水位：T.P.+34.42m



東海豪雨実績
容量：70,000 m³
水位：T.P.+34.60m

※区域はイメージです